

てんのり

— 発行所 —
 社会福祉法人一仁会
 山口県周南市大字大河内一〇九番地の二
 特別養護老人ホーム天王園
 天王園シヨートステイ
 天王園デイサービスセンター
 天王園在宅介護支援センター
 グループホーム天王園

特別養護老人ホーム

ミニ喫茶

三月八日、本日のおやつは手作りロールケーキです。種類豊富でバナナ、チョコレイト、コーヒー味などから、皆さんに好みで選んでもらいました。その上に果物のイチゴやみかんを乗せて、仕上げはホイップクリームでデコレーションしました。とても可愛いロールケーキの完成です。また作りたいため、皆さん喜ばれました。



健康体操

三月二十九日、ジュフレ熊毛の皆さんが慰問に来られました。舞



台では、ソーラン節や知床旅情などの曲に合わせて、会場の皆さんもいっしょにタオルを使つての体操をしたり、唄ったり、楽しそうに身体を動かしていました。一番前で参加された松岡千代子さんは「とても良い運動になりました。肩や首の凝りが軽くなったようです」と、笑顔で話されました。

デイサービスセンター

うれしい雛祭り

手作りの素敵なお衣装で変身。徳永さんご夫妻です。



「この手で男雛と女雛を作ったみたい」の声に、色付けして完成です。



満開

花見の時期もすぐそこまで来ています。

というわけで、皆さんに少しづつお手伝いをお願いして、ちぎり絵で「はなさかじいさん」を作りました。

さて、見事に咲かせてくれるでしょうか。



グループホーム

ひなまつり

三月三日は、五節句のひとつ上巳(じょうし)の節句です。と言われてもあまりピンと来ませんが、桃の節句と聞くと馴染みがあると思います。

とつこつと、風食に定番の筍、蓮根、菜の花など季節の具材を使ったちらし寿司、蛤の吸い物を用意してお祝いました。

午後には、ひな人形を見ながらの茶話会です。「久しぶりに見たいよ。かわいいね。」とか「昔は飾ったり、片づけたり大変だったよ」などと和やかな雰囲気にもまれたひな祭りになりました。



在宅介護支援センター

ランチ活動記

今回は、六十五歳以上の方が総合事業を利用する際の流れについて説明します。

利用希望者は、周南市地域福祉課・総合支所・支所、お住まいの地区を担当する地域包括支援センター等の窓口にご相談します。

窓口では、総合事業の目的や内容、手続き等について説明を行い、基本チェックリストを実施します。

この基本チェックリストにより基準に該当し、介護予防・生活支援サービスを利用しようとする時は、基本チェックリストと介護予防ケアマネジメント依頼届出書を市役所に提出します。

これが受理されると被保険者証が発行され、地域包括支援センター等が利用者宅を訪問し、説明・同意を得たうえで介護予防ケアマネジメントを行い、サービスの利用ができます。

ショートステイ

ひな祭り

三月三日、利用者さんで白餅作りをしました。もち米3、白

米2の割り合いに食紅を混ぜたお米は、桜色に炊きあがりました。一口大の大きさに、アンを挟み込み上手に丸めていました。最後に桜の塩づけの葉を巻いて出来あがりです。皆さん、特別なひな祭りになったようです。



メカタは…?

職員の畑で収穫した大根の大きさに皆さんビックリでした。私の足より大きいとか、おでんにしたら何人前ぐらい作れるかねなど、大根ネタでおおいに盛りあげました。両手で抱えてもらい、それぞれに目方を予想し、計量の結果は四・五kg、近い方はおられました。正解は出ませんでした。



話題

山口トヨペットの社会福祉活動の一環である「プリウス基金」より、このたび車椅子を寄贈して戴きました。入所者さんの通院や、園外レクリエーションなどに、広く活用したいと思います。

3月誕生日の方々

- ☆石津 久子 様 : 八十九歳
- ☆山本エイコ 様 : 八十八歳
- ☆貞久 宏 様 : 八十五歳
- ☆石橋千鶴子 様 : 八十四歳
- ☆石田アツ子 様 : 八十三歳
- ☆藤本マチエ 様 : 九十六歳



編集後記

暑々寒々も彼岸までとよく言います。天王園の外庭にはつくしが芽を出したり、ウグイスのさえずりを耳にするようになり春はもつてきます。桜前線も北上して来ており四月五日にはお花見を予定していますのでお楽しみに!!